

(株)別処電線製造所

2016 年度 環境経営レポート

(対象期間 2016 年6月1日 ~ 2017 年5月31日)



この美しい地球のために

作成日：2017年6月3日

環境経営方針

(株)別処電線製造所は、特殊銅撚線（無酸素銅、スズメッキ銅、ニッケルメッキ銅）、丸編組線、平編組銅線の製造販売を通して、地球環境、地域社会との調和と共存を念頭に置き、弊社が行うすべての事業活動において、全社一丸となって継続的改善を行い、地球にやさしい会社創りを目指します

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます

① 二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）

- ・ 電力（工場、事務所）
- ・ 自動車燃料（営業車、トラック）

② 廃棄物排出量の削減

③ 排水量の削減（水資源の保全）

- ・ 一般水道水

④ 事務用品等のグリーン購入の推進

⑤ 製品不良の削減

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2008年11月1日

改定日：2012年6月1日

代表取締役社長 別處 了一

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

(株)別処電線製造所
代表取締役社長 別處 了一

(2) 所在地

本 社 大阪府高槻市西面南1-22-3
摂津工場 大阪府摂津市安威川南町3-75

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	専務取締役	別處 了太郎	TEL 072-678-5860
担当者	環境事務局長	別處 達也	同上

(4) 事業内容

特殊銅撚線、編組線の製造および販売
主要製品：無酸素軟銅撚線、無酸素軟銅丸編組線、スズメッキ軟銅撚線、平編組銅線

(5) 事業の規模

製品出荷額	13 億円
主要製品生産量	764 トン

	本社	摂津工場	合計
従業員	25	2	27
延べ床面積	924	168	1092

(6) 事業年度 6月1日～5月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名： (株)別処電線製造所

対象事業所： 本社
摂津工場

活動： 特殊銅撚線、編組線の製造および販売

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2014年	2015年	2016年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	141,914	143,867	151,475
廃棄物排出量	kg	3,513	1,586	1,120
一般廃棄物排出量	kg	2,193	506	480
産業廃棄物排出量	kg	1,320	1,080	640
総排水量	m ³	293	287	282

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.342 kg-CO₂/kWh

□環境目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準度)	2016年		2017年 (目標)	2018年 (目標)
			(目標)	(実績)		
電力による二酸化炭素削減 (本社工場)	kg-CO ₂	98,037	97,057	104,086	97,057	96,076
	基準年比	2015年	99%	106%	99%	98%
電力による二酸化炭素削減 (摂津工場)	kg-CO ₂	23,439	23,204	23,459	23,204	22,970
	基準年比	2015年	99%	100%	99%	98%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	24,845	24,348	24,201	24,100	23,603
	基準年比	2015年	98%	97%	97%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	146,321	144,609	151,746	144,361	142,649
一般廃棄物の削減	kg	506	490	480	490	480
	基準年比	2015年	97%	95%	97%	95%
廃プラの削減	kg	1,080	1,048	640	1,048	1,026
	基準年比	2015年	97%	59%	97%	95%
水道水の削減	m ³	287	281	282	278	273
	基準年比	2015年	98%	98%	97%	95%
グリーン購入の推進	%	—	96%	97%	97%	98%
	—	—	—	—	—	—
製品不良の削減	件	18	17	5	16	15
	基準年度比	2015年	97%	28%	97%	95%

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況		取組結果とその評価、次年度の取組内容
	前年度	本年度	
電力による二酸化炭素削減（本 本社工場）			
数値目標	×	×	目標未達成。売り上げ自体は前年よりも減っているが、燃線 ⇒ 編組線に製品構成がシフトチェンジしたため、リードタイムが長くなり、稼働率が上昇したことが要因といえる。次年度も客先ニーズにより設備投資を行う予定なので、日々のエコ意識を励行し、削減に努めていきたい。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃） ※工場内は冷房25℃暖房22℃	○	○	
・不要照明の消灯	△	○	
・ノー残業デーの実施	×	○	
・作業改善・業務改善の推進	△	△	
電力による二酸化炭素削減（摂津 摂津工場）			
数値目標	×	×	目標未達成。本社工場同様 製品構成がシフトチェンジしたため、リードタイムが長くなり、稼働率が上昇したこと、昨年設備を導入したことによる電気使用量の増大が要因といえる。 エコ意識を常に持って作業し削減に努めていきたい。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃） ※工場内は冷房25℃暖房22℃	○	○	
・不要照明の消灯	△	○	
・ノー残業デーの実施	○	△	
自動車燃料による二酸化炭素削減			
数値目標	○	○	目標達成。上半期は未達ペースであったが、日々のエコ運転と納期まとめによる納品が功を奏した。引き続き削減に努めていきたい。
・アイドリングストップ	○	○	
・効率的なルートで配送	○	○	
・エリア別営業活動の見直し	○	○	
一般廃棄物の削減			
数値目標	○	○	目標達成。ただし、一部客先でのダンボール再利用の廃止など、廃棄量が増える方向ではある。次年度も紙コピー紙の再利用の徹底などを通して削減に努めていきたい。
・分別の徹底	△	△	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	△	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	○	
・梱包材の再利用	△	△	
廃プラの削減			
数値目標	○	○	目標達成。昨年度に比べてかなりの削減となった。大きな要因は輸出対応が増え使用済みのポピンが減った事が挙げられる。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	○	
・安全で丁寧な作業の励行	○	○	
水道水の削減			
数値目標	△	×	目標達成。昨年に引き続きこまめな節水と一人一人の節水意識が結果に繋がったと思われる。次年度も引き続き削減に努めていきたい。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	○	
・節水弁取り付け	○	○	
・自動水栓取り付け	○	○	
グリーン購入の推進			
数値目標	○	○	目標達成。事務用品、資材などの価格は高騰しているが、引き続きグリーン購入を推進していきたい。
・有害性の少ない資材の購入	○	○	
・省エネ性能の高い電気製品の購入	×	○	
・燃費のよい自動車の採用	○	○	
製品不良の削減			
①作業前の点検、確認の徹底	○	○	目標大幅達成。生産量が増えている中でのこの結果は作業者一人一人の意識付けによるものが多かったと言える。次年度も引き続き削減に努めていきたい。
②定期的スキルチェックを行う	○	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等）
自動車Nox・PM法	自動車
フロン排出抑制法	業務用空調機
グリーン購入法	事務用品等
RoHS指令	製品・梱包資材等
消防法	危険物の保管

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等は過去3年間（あるいはこれまで）ありませんでした。

□環境活動の紹介



社内美化～使用済みボビン専用の倉庫の設置

- ・ 今期の改善テーマ～仕損の低減
製造におけるチェック項目の可視化によるポカミスの防止